食安輸発第0331001号
平成21年 3 月31日

各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課
輸入食品安全対策室長
(公印省略)

モニタリング検査の強化について
(オーストラリア産牛肉)

今般、在日オーストラリア大使館より、豪州側による検査の結果、下記の施設から対日輸出された牛肉について、腸管出血性大腸菌（O157）が検出された製品が混入しているとの連絡があり、当該施設については、豪州政府により対日輸出手続きが停止されております。

本件については、既に問題の貨物が特定され、全量保管中であることが確認されていますが、豪州側の対策を検証する観点から、念のため、下記の施設から既に対日輸出された牛肉の届出があった際には、腸管出血性大腸菌（O157）に係るモニタリング検査の頻度を届出数の30%に引き上げて対応するので、検査の実施方よろしくをお願いします。

記

対象施設：CARGILL AUSTRALIA LTD (Est. 291)